

平成 30 年度 第 2 回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 平成 31 年 2 月 19 日（火） 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

場 所 長野市役所第二庁舎 10 階 講堂

出席者 委 員：荒井委員、金澤委員、北村委員、小林委員、清水委員、
玉城委員、若山委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）倉島部長、内山課長
新井補佐、倉島補佐、久保係長、山口主事
教育委員会事務局文化財課 小柳課長

《資料》

資料 1 平成 31 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要

資料 2 平成 31 年度 長野市子ども文化芸術賞受賞候補者選定資料

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 自己紹介
- 5 議事

(1) 平成 31 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要について

(事務局)

〈資料 1 について説明〉

(職務代理)

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

(A 委員)

野外彫刻は、事業を開始して 50 年近くなるが、この先も続けていくのか。別の文化芸術事業に予算をあてるべきではないか。

(B 委員)

今後検討すべき事項である。

(C 委員)

文化芸術課所管事業の総予算 5 億のうち、約 4 億が長野市芸術館運営事業に充てられている。この予算がどのように使われているのか分からない。費用対効果だけの話ではないことは承知しているが、実際どれほどの効果が上がっているのか。事業が市民のためになっているのか。

また、風景画展では狭い場所に上下 2 段に並べて作品を展示していたが、このような

展示方法では市民がもう一度来たいと思えるものか疑問である。

(B 委員)

施設の運営というのは、費用対効果のみではなく、参加人数や満足度などもある。数字だけが結果ではない。

(事務局)

指定管理料には、施設の管理費・人件費・事業費などが含まれている。市民の芸術館利用については、利用者も徐々に増えている。また、市民とのかかわりについて、指定管理二期目は「市民と共に成長」をコンセプトとして掲げ、事業を展開していくこととしている。

風景画展はスペースと出品数の関係で、狭い印象を与えてしまうこととなった。今後、より良い展示方法を検討、模索していく。

(C 委員)

芸術館には他にも展示できるスペースはあるのに、シャットアウトのように閉め切っ
てしまっている。敷居が高く行きたくないという声も私の周囲には多い。

(事務局)

風景画展はこれまで信濃美術館で開催してきた。今は美術館が工事中なので、芸術館で展示をしている。セキュリティの問題を考慮しなければならないが、展示のためのメインホール利用は今後検討が必要である。

(A 委員)

昨年アートメント NAGANO2018 が開催されたが「アートメント」という単語自体が理解できない。また、芸術館が発行している冊子を見ると「シーズンプロデューサー」とあるが、これも何なのか分からない。芸術とは何なのか。

(D 委員)

芸術館は色々な団体発表の場であると考えるが、絵画の発表をする場でもあるのか。個人的には、芸術館は絵を発表する場ではないように感じる。

(E 委員)

長野市には市立美術館がないため、絵画作品を展示するサロンを楽しみにしていたのに、そのスペースが僅かしかなく残念である。

(C 委員)

絵画のための場所でないのなら、芸術館ではなく音楽館などに名前を変えるべきだ。

(F 委員)

芸術館の 4 億は市民に寄り添っているのか。現代のゆとりのない財政状況においては、費用対効果が見えにくい事業が削られがちであるが、文化芸術分野の振興は都市生存率に大きく関わってくる。市民と市の方向性が乖離しないことが重要である。

(事務局)

信濃美術館や長野市芸術館など、市内の文化芸術施設をトータルで考えていく必要が

あり、役割分担をするべきと考える。

(B委員)

文化芸術事業については、一方通行で与えたり押し付けたりものではなく、足りないところは協力して一緒に良いものを創っていく必要がある。今回、様々な貴重なご意見をいただいたので、ご検討をお願いしたい。

(2)平成 31 年度長野市子ども文化芸術賞受賞候補者選定について ※非公開

8 その他

(事務局)

既に通知はさせていただいたが、2月22日から3月3日まで、長野市芸術館展示サロンにて水上民平展が開催される。また、5月3日には、ながの獅子舞フェスティバルが開催されるほか、今回選定いただいた長野市子ども文化芸術賞の表彰式も行われる。

今年度の開催は今回が最後となる。来年度の第1回審議会は7月に開催予定となっているので、引き続きよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

9 閉会